

## 【研修報告】

平成30年5月27日(日)、鹿児島県総合防災訓練に参加いたしました。

### 〈今回の想定〉

午前9時、種子島東方沖を震源とするM8.4の大きな地震が発生し、鹿児島県西部に「大津波警報」が発表されるとともに、家屋倒壊による要救出現場が発生しており、一部の集落については、津波・がけ崩れに伴う道路の寸断により孤立した可能性がある。  
さらに、薩摩・大隅地方の各市町に「大雨・洪水警報」が発表され、大規模な山崩れ、がけ崩れなどの嚴重な警戒が必要である

### 〈研修内容〉

災害ナースの役割としては現地の医療スタッフ、保健師と連携をとり5人ずつのグループに分かれそれぞれ参加住民の対応を以下の順番で行いました。

① エコノミー症候群予防対策として、参加住民にパンフレットを使用しエコノミー症候群の説明と簡単にできるストレッチなど指導しました。

② 手洗い指導などの感染症対策を行い、まず、チェック用のクリームを塗りチェッカー(BOX)の中に手を入れ洗い残しを確認します。その後、手洗いを指導用紙の通りしてもらい再度、チェッカーに手を入れ、きれいに手洗いができたか確認するまでの説明と補助しました。

③ 避難所の環境整備や吐物処理の実演をし、実際に吐物ような物を撒き手順書通りに消毒、除去、消毒の順でおこないました。

④ 健康相談の対応を住民、外国人対象におこないました。  
すべての工程を終了後医療関係者全体のカンファレンスを行い、反省、次回に向けての対策を話し合い最後は、自衛隊やDMATの実演を見学し研修終了でした。

### 〈感想〉

今までの研修と比べ今回は健康相談以外に、感染症の実演やエコノミー症候群の説明や対策を住民の方々へ伝え、参加住民の方々も興味を持ちいろいろ聞いてきたりして、うまくコミュニケーションの取れた研修になったと感じました。また、研修内容が増えた分自分自身の防災意識もさらにたかまりました。



(エコノミー症候群についての説明)



(手洗いチェックを受けている様子)



(健康相談)